

工務店による CSR 活動「木望の未来プロジェクト」と工務店がつくる木の家「木和美」【LCCM】 2つの対象が「2012年度グッドデザイン賞」を受賞 — アキュラホーム7度目の受賞 —

木造注文住宅を手がける株式会社アキュラホーム(本社:東京都新宿区、社長:宮沢俊哉)と全国工務店ネットワーク「ジャブネット」(主宰:宮沢俊哉)が行う、CSR活動「木望の未来プロジェクト」と地域に適した先進的エコ住宅建築システム「木和美」【LCCM】は、「2012年度グッドデザイン賞」(主催:公益財団法人日本デザイン復興会)を受賞いたしました。今回の2つの対象を含め、アキュラホームの同受賞は7度目となります。当社は「人の暮らしをデザインする」ことをコンセプトとして、家をつくるだけでなく住まう人の暮らし、地域コミュニケーション、社会のより良い関係づくりに取り組んできました。今後も社会への啓発に努め、積極的に本活動の輪を広げてまいります。

— 2つの受賞対象 —

■ 工務店による CSR 活動「木望(きぼう)の未来プロジェクト」

次代を担う子どもたちにもものづくりの文化、技術という無形な財産を伝えるため学校とコラボレーションして実施する体験学習。併せて大工たちにはものづくりの誇りと仕事へのモチベーションを高めます。老朽化した学習机の天板を交換・再生することで子どもたちに「木の素晴らしさ」「物の大切さ」「ものづくりの楽しさ」や最近失われている「物を直し使い続ける大切さ」を伝えます。また、間伐材を採用した天板は身の回りにある全てのものが地球環境に繋がっていることや日本の森林の現状、環境問題への意識喚起を目的としています。本活動は子どもたちが具体的な実践から知識を得ることができ、大工の減少等社会的課題の解決を目指した経験型デザインの貢献活動として評価され、特別賞候補である「グッドデザインベスト100」に選ばれました。参考WEBサイト：<http://www.aqura.co.jp/company/kibou.html>



※体験学習の様子

■ 工務店がつくる木の家 木和美(きわみ)【LCCM】

地域に適合した先進的エコ住宅(LCCM住宅※)を建築可能にするシステム。現代に求められる高度な技術を数値・ルール化して地域工務店でも採用できるようにする一方、工務店の強みとする地域の気候風土や伝統文化を融合できる仕組みとなっています。性能はCASBEE※に基づいたLCCM実現のために地域産材使用比率等を定め、創エネルギー機器の導入などを行います。



※木和美で構築された外観イメージ

本システムは伝統的な家の建て方をいかに継承させるかということに着目しつつ、数値的根拠をしっかりとバックアップする姿勢が評価されました。

LCCM住宅:ライフサイクルカーボンマイナス住宅。建築から運用、廃棄時においてできるだけ省CO₂に取り込み、かつさらに太陽光発電などを利用した再生可能エネルギーの創出により、住宅建設時のCO₂排出量も含め生涯でのCO₂収支をマイナスにする住宅
CASBEE:建築環境総合性能評価システム。建築物の環境性能で評価し格付けする手法。



**GOOD DESIGN
AWARD 2012**

グッドデザイン賞は、1957年にスタートした日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開されて国内外の多くの企業や団体が参加しています。

グッドデザイン賞公式WEBサイト：<http://www.g-mark.org/>

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・若林 Email: aqura_pr@aqura.co.jp

住所: 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F TEL:03-6302-5010 (直通) FAX:03-5909-5560

「木望(きぼう)の未来プロジェクト」

～ものづくりの大切さを子どもたちに伝え・気づかせ「ものをつくる人を育成」する CSR 活動～

◇ ふれあい授業: 木育授業と小学校学習机の天板交換体験学習で2つのことを伝える

1. 学校とタイアップして全国で開催している体験学習。老朽化した学習机の天板を交換・再生することで子どもたちに「木の素晴らしさ」「物の大切さ」「ものづくりの楽しさ」や最近失われている「物を直し使い続ける大切さ」を伝えている。

2. ものづくりに関連する人材が増えると、『ものづくり』はものをつくる職人、素材をつくる人、素材を加工する人、全てに関連する道具をつくる人など多様な人材を要す。そのため経済波及効果が大きく特に地域の幅広い業種に環流させることが出来る。地域経済の生態系を構築する多くの幅広い業種に環流させ産業に対して、その恩恵を広く浸透させられることが出来る。



◇ 効果

1. ものづくりの文化、技術という無形な財産を次代を担う子どもたちにしっかりと伝えている。

2. 大工たちにもこの活動を通じて地域で活躍することによって「ものづくりの誇り」や「仕事へのモチベーション」を高めることができる。

3. 身の回りに有る全てのものは地球環境と繋がっていることを子どもたちに理解してもらい、日本の森林の現状や循環を知り、環境問題の重要性を考えさせることが出来る。

工務店がつくる木の家 木和美(きわみ)【LCCM】

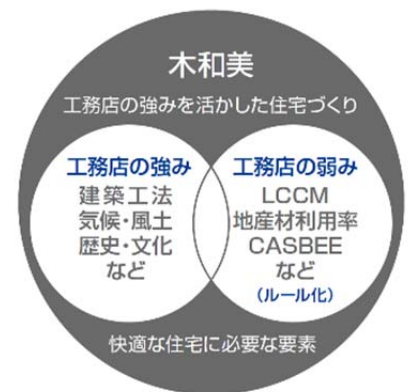
～地域に適合した先進的エコ住宅(LCCM 住宅)を建築可能にするシステム～

◇ 生活者が快適で満足な住宅を購入するための仕組み

1. 現代に求められる住宅性能を満たすことが出来る。

2. 地域を熟知した工務店の経験を活かし建築する住宅である。

この木和美【LCCM】はエネルギーや温熱等工務店対応が難しい部分をルール化し、今後日本で建てる家としての性能を確保しつつ、地元工務店が得意とする地域の気候風土に合っていて、伝統文化を継承しながら、家づくりに専念可能な仕組みである。性能はLCCM 実現のために地域産材使用比率等を定め、長期優良住宅、創エネルギー機器の導入などを行っている。



◇ 効果

1. 生活者の立場で住宅建築可能なシステムである。

2. 地域工務店が現代に必要な性能を確保でき、気候風土や伝統継承など、本来家づくりに必要なことに専念可能な仕組みである。

3. 大手住宅メーカーやFC が供給する住宅建築のビジネスモデルでは画一的なものになりがちで地域還元率が低い。しかしこのシステムは工務店の強みを活かすため、地域経済の生態系を構築する多くの幅広い業種に環流させ産業に対して、その恩恵を広く浸透させられることが可能。

■ 当社グッドデザイン賞受賞実績

2005年：「匠階段」

伝統工法の木組みの技術を再現して木だけで組まれた階段

2006年：「ガラスウォール(耐力壁)」

大空間・大開口ニーズに対応できる、光が通り抜ける耐力壁

2008年：「オブティス・サスティナブル」

新築住宅における価値持続の仕組みと暮らし方をサポートする様々なサービスメニューの構築
「JAHBnet・リノベーションデザインプロジェクト」

地域工務店と住まい手、職人との新たな連携によって既存住宅の価値を再創造する仕組み

2010年：「アキュラシステム」

地域に密着した工務店による家づくりを適正価格で実現する工務店経営支援システム

2012年：「木望の未来プロジェクト」

工務店によるCSR活動

「木和美(きわみ)」【LCCM】

地域に適合した先進的エコ住宅(LCCM住宅)を建築可能にするシステム。

●写真データは右記よりダウンロードすることができます。 <http://www.agura.co.jp/news.html>